

※授業は1回2時限です

学科名 コース名	国際関係学科 日本語教師養成コース			授業方法	講義・演習		
科目名	ビジネス中国語	学年	1	時間数	30	単位数	2
担当者	福原	科目種別	ビジネス実務	実務経験のある教員等 による授業	○	必修選択	選択
到達目標							
中国語の基本である発音を身につけ、簡単な日常会話を習得させると同時に、これを通じて現代中国の文化や社会について理解させることを目標とする。							
授業概要							
日本に長く滞在し、言語学を学び、翻訳や通訳の仕事をしてきた講師が、母国語である中国語を学生のレベルに合わせて、わかりやすく解説し、発音や会話を練習する。中国語圏のマナーや習慣についてもエピソードを交えながら紹介する。							
回	テーマ	内容					
1	発音練習 母音練習	中国語の表音文字である「ピンイン」の読み方、書き方を学び、母音の発音を練習します。					
2	子音練習 中国語の四声	中国語を発音する際に使う、4種類の声調（音の高低・変化）・四声について学び、子音の発音を練習します。					
3	日常用語（1）	単語の構造や名詞、動詞、形容詞について学び、単語や文例の発音を練習します。					
4	日常用語（2）	副詞、数詞、助数詞について学び、単語や文例の発音を練習します。					
5	指示代名詞 人称代名詞	指示代名詞、人称代名詞にはどのようなものがあるかを学び、それぞれの使い方を発音を練習します。					
6	挨拶	中国語の挨拶について学び、日常で使えるように発音練習や会話練習をします。					
7	文の基本	肯定文、否定文について学び、それぞれの文例を練習し、会話練習をします。					
8	疑問文	選択疑問文、疑問詞疑問文、不定の意味を持つ疑問詞、「～呢」疑問文について学び、それぞれの使い方や文例を練習、会話練習をします。					
9	是構文	名詞述語文、所有を表す動詞「有」、動詞述語文、主述述語文について学び、それぞれの使い方や文例を練習します。					
10	否定の「不」と 未然の「没」	連体修飾語と連用修飾語について学び、文例を練習します。					
11	二重目的語の文	二重目的語が取れる動詞や二重目的語構文の文例を学び、使い方を練習します。					
12	語気助詞「吧」	連動文、存在の「有」、存在を表す動詞の「在」について学び、使い方を練習します。					
13	助動詞	能力や許可を表す助動詞 会／能／可似や、願望や意欲を表す助動詞 要／想／得について学び、使い方を練習します。					
14	介詞文	介詞文 在／从／离や、介詞文 跟／向／などについて学び、使い方を練習します。					
15	受け身文	使役文について学び、使い方を練習します。					
テキスト・教材・参考書				成績評価の方法・基準			
				提出物・授業態度・出席状況により評価を行う			